

原子炉容器脆化の進んだ老朽原発（高浜 1， 2号機、美浜 3号機）の廃炉及び企業の社会的責任を果たすことを求める要望書

株式会社関西電力
岩根茂樹 社長様

2019年9月27日
オール福井反原発連絡会議
電話：090-7083-8921（若泉）

現在、貴社の原子力発電所は、高浜 3号機、大飯 3・4号機が運転中であり、高浜 4号機が定期検査中です。今後、高浜 1， 2号機、美浜 3号機の再稼働を目指して取り組みをされているとのことです。つきましては、上記原発の危険性にもとづく廃炉と、昨年度、福井県と交わした「使用済み燃料の中間貯蔵施設設立地点公表」の約束を果たせなかったことによる、企業の社会的責任（CSR）にもとづく大飯 3， 4号機の運転停止を要望いたします。

本年 3月 15日、貴社は福井県原子力安全専門委員会において、「美浜・大飯・高浜発電所の安全性向上対策の実施状況等」を説明しました。対策として「中央制御盤取替」「格納容器上部遮蔽装置の設置」（高浜 1， 2）、「炉心さうの取替」（美浜 3）等を上げました。しかし、これで本当に安全対策は万全といえるのでしょうか。

原子力安全保安院の「原子炉圧力容器の中性子照射脆化について」（第 5 回高経年化技術評価に関する意見聴取会 資料 2 2012.1.23）によれば、（廃炉の玄海 1号をのぞき）高浜 1号が最も脆化が進んでおり、高浜 2号、美浜 3号も危険性が高まっていることが示されています。つまり、緊急炉心冷却装置が作動した場合、原子炉容器が破壊される（冷却水の喪失事故で緊急炉心冷却装置が作動して常温水が注入され、原子炉容器の温度が急激に下がると熱衝撃で脆くなった原子炉容器が破壊される）危険性があるのです。この致命的な問題についてはどのような対策のとりようがありうるのか、説明がなされていません。これは福井県民に対し原子炉の危険性に関する問題を隠すことになるのではないのでしょうか。また、新聞に折込まれた貴社の公報物には、「取替えが難しいものは設備の劣化状況を把握するための特別点検などを行っています」とありますが、どのような点検で、どこが特別なのか説明がありません。福井に住む人々を欺いていると言わざるを得ません。高浜 1， 2号機、美浜 3号機の運転などもつてのほかで即時廃炉とすべきです。

使用済み燃料の中間貯蔵施設の設立地点公表については、公表を前提に福井県から大飯 3， 4号機の再稼働了承をとりつけ、その約束が果たせなかった以上、社会的責任を担う企業として同原発を運転停止すべきです。貴社は企業の社会的責任をどのように考えておられるのでしょうか。

以上の疑義をふまえ、老朽原発の高浜 1， 2号機、美浜 3号機の廃炉及び、大飯原発 3， 4号機の即時運転停止を要望いたします。

以上